

指定管理者評価シート

事業名	札幌市リサイクルプラザ運営管理	所管課(電話番号)	環境局環境事業部循環型社会推進課(211-2928)
-----	-----------------	-----------	----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市リサイクルプラザ (通称リサイクルプラザ宮の沢)	所在地	西区宮の沢1条1丁目 ちえりあ1F
開設時期	平成12年8月	延床面積	351.5㎡
目的	市民が廃棄物の減量及び資源の有効利用(以下「廃棄物の減量等」という。)に関する知識と理解を深めることができる場所を提供することにより、その意識の啓発を図るとともに市民の廃棄物の減量等に関する自主的な活動を支援し、もって資源が循環して利用される社会の形成に寄与すること。		
事業概要	不用品の有効活用に関する場の提供、ごみ減量・リサイクルに関する情報提供、ごみ減量・リサイクルに関する相談		
主要施設	エコ相談コーナー、情報コーナー、展示コーナー		
2 指定管理者			
名称	特定非営利活動法人 環境り・ふれんず		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、事業計画及び実施業務、その他付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和6年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼ 統括業務管理計画を作成し、「責任者の配置に関する方針」に沿って、事業を遂行するための職員の雇用及び管理者を配置した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼ 平等利用を確保するために、リサイクルプラザにおける入館や販売行為等の条件に関する基本方針を定めている。(今年度は入館や販売行為等を認めなかった事例はない。)</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、節電・資源リサイクル等の環境保全計画書を作成の上、実施した。また、当施設の事業は、ごみ減量・リサイクルがテーマであり、参加者を増やすことが環境配慮の推進につながるため、事業の紹介や情報提供を積極的に行った。 ※(6)付随業務(広報業務)のとおり。</p>	<p>第五期指定管理者の2年目は、概ね計画通りに進めることができた。</p>	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>要求水準を満たしており、適切に統括管理業務が実施された。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

▼統括業務管理計画に基づいた運営組織図を作成し、業務統括責任者及び職員を配置した上で、事業を遂行するための職員の雇用及び管理者の配置を行った。

▼オンラインや外部の研修を受講したほか、市外にも赴き職員のスキルの向上に務めた。

(職員研修内容)

4月:セミナー「災害ごみを考える」(1名)
 5月:海のクリーンアップ大作戦!(3名)
 5月:(株)エフピコ:トレーのリサイクル報告会(1名)
 5月:札幌市お片づけ連絡会設立総会(1名)
 5月:全国の施設(工場)見学事例紹介(1名)
 6月:パレスチナのしごと、暮らし、いとなみ(1名)
 6月:支援現場のリアリティと「客観性の落とし穴」(1名)
 6月:リユース食器でイベントごみゼロをめざす等(2名)
 6月:西区スポGOMI大会(3名)
 7月:「プロから学ぶ、お家のお片付け」講座(1名)
 9月:元気なうちに3Rでお片づけセミナー(1名)
 9月:エスコンフィールドのごみ処理設備等視察(2名)
 10月:海岸漂着物シンポジウム(1名)
 10月:自家製堆肥の作り方と家庭菜園講座
 10月:街のクリーンアップ大作戦!(1名)
 10月~3月:(全6回)ZOOMの使い方研修(4名)
 11月:未来のごみ問題シンポジウム(2名)
 11月:3R・気候変動検定(1名)
 12月:SDGs研究会(1名)
 1月:札幌市の製品プラスチックの取組み(1名)
 2月:体験プログラム学習会(2名)
 3月:LINE公式アカウントを導入して仕事に活用(1名)

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼月に2回、職員の全体会議を行い、組織内の情報を共有して、各業務の見直しと改善をした。また、職員研修を積極的に行い、職員全体の能力向上に取り組んだ。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼リユース家具・自転車の運搬業務を委託。1年ごとに契約書を交わし、毎月、担当者による業務完了の確認を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 7月4日	▼4月～6月プラザ事業のふりかえりと進捗状況報告 ▼イベントの開催について ▼モバイルバッテリーの回収報告 ▼最低賃金や物価の高騰について
第2回 10月22日	▼7月～9月プラザ事業のふりかえりと進捗状況報告 ▼イベントの開催について ▼リサイクルプラザ既存事業の現状と課題について
第3回 1月21日	▼10月～12月プラザ事業のふりかえりと進捗状況 ▼リユース家具・自転車の抽選申込方法について見直し ▼イベントの開催について
第4回 3月21日	▼1月～3月プラザ事業のふりかえりと進捗状況 ▼2025年度目標値について ▼職員体制について ▼物価高騰対策について
<p><協議会メンバー></p> <p>循環型社会推進課:課長・係長・担当者(計3名) 環境り・ふれんず:代表理事2名・理事1名・正職員1名(計4名)</p>	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理は、リサイクルプラザ事務所と本部事務所にて会計担当者が会計ソフト「NPO会計王」を活用し行い、担当理事が会計管理を行った。また、当会の監事(2名)及び札幌市による監査を行い適正処理している事の確認が行われた。

▽ 要望・苦情対応

▼市民からの要望・苦情が寄せられた場合は、速やかに札幌市へ報告し、報告書を作成して、職員で共有することで、クレームの再発防止等に努める体制を確立している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼業務日誌により施設管理業務に関する日常業務の記録を行った。また、年2回の来館者アンケートと講座・教室・講演会の参加者へアンケートを行い、市民のニーズを調査して、次年度事業の計画に反映した。
月次報告や特記事項などは速やかに札幌市へ提出した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼施設で働く職員に対し、最低賃金1,010円以上(令和6年10月改定)の時給を支給した。</p> <p>▼令和6年度は時間外労働・休日労働及び深夜業の内容を含む労働はなかった。</p> <p>▼施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間以内の労働時間を遵守した。</p> <p>▼条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。</p> <p>▼労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、健康保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。</p> <p>▼労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。</p> <p>▼指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。</p> <p>▼最低賃金が上がっていることや、勤続年数・スキル・モチベーション等を考慮して、職員の昇給を実施した。</p> <p>▼厚生労働省の働き方改革関連法に関するハンドブックを参考にして、労働・職場環境の改善に努めた。</p> <p>▼全職員、有給休暇を年間5日以上消化させた。</p> <p>▼労働者の安全と健康を確保するため、全職員は1年に1回定期健康診断を実施して、労働保険(労災保険)に加入した。また、職場のパワーハラスメント等の雇用管理の改善に関する相談窓口を2020年度から設置している。</p>	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>要求水準を満たしており、適切に労働関係法令遵守、雇用環境維持向上義務が実施された。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼事業に関係する行事参加者傷害保険に加入し、利用者の安全の確保に努めた。また、Jアラート発令時の緊急時対応マニュアルを2023年度から運用している。</p> <p>▼利用者の施設利用の支障にならないよう、イベント等の開催スケジュールに配慮するとともに、広報誌において実施の周知を図った。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼リサイクルプラザの施設・設備等の維持に関する清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理について、仕様書のとおり実施した。</p> <p>▽ 防災</p> <p>▼年5回、ちえりあでの消防防災訓練や防災設備点検等を実施した。</p> <p>(5月:防犯設備の強化) 受付カウンター内に「さすまた」と「催涙スプレー」、天井に防犯カメラを設置した。</p> <p>(8月:自衛消防訓練) 館内にある主な消防設備の役割や動作を確認し、非常時に各施設の職員が、躊躇なく報知器や排煙設備等を起動できるよう理解を深めた。</p> <p>(12月:防災訓練) 札幌市民防災センターで各種疑似体験。</p> <p>(1月:消防署立ち合い検査) 消防署による防災設備点検を実施(スプリンクラー・消火器・非常口等)。リサイクルプラザ内で改善が必要な箇所は特になかった。</p> <p>(3月:自衛消防訓練) 講座と避難訓練(初期消火・避難誘導・救出救護)。</p>	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>要求水準を満たしており、適切に施設・設備等の維持管理業務が実施された。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

(4)事業の計画・実施業務	▽ ごみ減量・リサイクルに関する学習機会の提供業務	適切に実施することができた。	A	B	C	D				
			▼前年度までのモニタリングの結果を基に、各教室等の内容を市民のニーズに合わせて計画・実施した。定員を設けている各事業ごとの参加率がいずれも80%以上となった。	▼出張講座を20回実施。 参加者96人(定員100人・申込み216人)	▼リフォーム教室を30回実施。 参加者149人(定員155人・申込み331人)	▼エコ教室を49回実施。参加者127人(定員147人・申込み179人)	▼エコ映画会を1回実施。参加者345人(定員400人、申込み450人)	▼7、8月にごみ処理施設見学会(古潭海岸のビーチコーミング)を2回実施。参加者68人。(定員72人、申込144人)	▼出前講座を18回(参加184人)実施。地区センター・小学校等から申し込みがあった。 ・包丁の研ぎ方 12回 ・ごみの分け方 2回 ・古布で布ぞうり 1回 ・網戸の張替え 2回 ・空きびんでスノードーム 1回	▼施設見学を14回実施。参加237人。 ・市民団体、教育機関などからの申し込みがあり、館内案内、DVD観賞、分別ゲーム等に対応した。

▼特設展示コーナー

12回開催。

4月:海洋プラスチックごみ問題啓発紙芝居「プラごみおばけがあらわれた!」(北海道の容器包装簡素化を進める連絡会)

5月:「フェアトレード」(これからや)

6月:「元気なうちにお家のお片付け」(NPO法人北のごみ総合研究所)

7月:リユース食器の紹介(リユース食器ネットワーク)

8月:「衣服の3R」(西区環境まちづくり協議会)

9月:「私たちにできるSDGs」(第三友の会、第二友の会合同)

10月:「西区環境まちづくり協議会の取組」(西区環境まちづくり協議会)

11月:「捨てる前にもう一度!リメイク作品展」(なんでもリメイクサークル)

12月:「古布でお正月飾り」(陽だまりの会)

1月:札幌市ごみ減量ポスターコンクール作品展(札幌ごみ減量実践活動ネットワーク)

2月:札幌市リユースプラザ、発寒工房の活動紹介(NPO法人ライブ)

3月:リメイク作品展(リサイクルプラザボランティアスタッフ)

▼不用品又は需要品情報の提供で「ゆずります・ゆずってください」コーナーを施設内の掲示板で行なった。利用者の利便性を考慮して、ゆずりますの掲示の際に写真掲示を推奨した。

申込み83件(前年度からの持越し件数4件、次年度への持越し件6件)、成立28件、交渉不成立41件、キャンセル12件

▽ごみ減量・リサイクルに関する市民の自主活動及び交流の支援業務

▼ボランティアスタッフの参画

一般公募で登録した市民が、リサイクルプラザ業務(各教室の企画や講師・環境イベントのスタッフ・おもちゃ病院・情報誌の発行等)に関わる活動を担ってもらった。

(3月末時点)

登録50人、活動日数168日間、参加者数896人

▼毎月24日～月の最終日前日15時まで、リサイクルプラザ館内で市民参画型イベント「エコ広場」を開催した。

期間中はエコ教室・特設展示・Xチェンジ(洋服の交換会)・おもちゃ病院・エコクイズ・キッズコーナー等を設置した。

年間開催日数61日間、期間来館者数19,558人

▽ごみ減量・リサイクルに関する相談業務

▼ごみ減量相談:電話や受付カウンターでのごみ減量・分別相談を行い、それを職員で共有して相談業務の質を向上させた。

▼エコ相談(年間152日):毎月1日～15日の10時～15時まで開催。生ごみの堆肥化・ごみの分別・おもちゃ修理などを、市民ボランティアや職員により行なった。担当ボランティアスタッフに、日報に質問・要望などを記入してもらい、担当職員がコメントして内容を工夫していくようにした。また、全職員に日報を回覧して周知徹底した。

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R5年度実績	R6年度計画	R6年度実績
年間来館者	件数(件)	/		
	人数(人)	74,716	74,716	86,828
	稼働率(%)	/		
出張講座	件数(件)	20	20	20
	人数(人)	93	/	96
	稼働率(%)	93	80	96
リフォーム教室	件数(件)	29	30	30
	人数(人)	139	/	149
	稼働率(%)	93	80	96
エコ教室	件数(件)	49	40	49
	人数(人)	131	/	127
	稼働率(%)	81	80	86
ごみ処理施設見学会	件数(件)	2	2	2
	人数(人)	75	/	68
	稼働率(%)	94	80	94
出前講座	件数(件)	13	10	18
	人数(人)	204	/	184
	稼働率(%)	/	/	/
エコ映画会	件数(件)	1	1	1
	人数(人)	411	/	345
	稼働率(%)	100	80	86
施設内見学	件数(件)	16	/	14
	人数(人)	301	/	237
	稼働率(%)	/	/	

▽ 利用促進の取組

▼リフォーム教室、エコ教室

ボランティアスタッフや職員から出された企画を基に、配布資料の作成や講師と打合せ・レクチャーを行い新規教室を開催した。

▼出張講座(包丁研ぎ)

新講師の育成を行った。また、初心者でも出来る包丁の研ぎ方を意識して、定期的に資料の改編を行った。

▼ごみ処理施設見学会

昨年度まで、参加者が定員に達すると移動用のバス内が手狭になり、レクリエーションも行いづらかった。参加者からの声もあり、定員を40人から36人に変更した。

▼エコ映画会

市民の声に応じて、昨年度、受付締め切り後に100件以上の申込みがあった『ブータン山の教室』をリバイバル上映した。

▼出前講座

通常実施している内容のほかに、布ぞうりや網戸の張替えなど、主催者のニーズに柔軟に対応した内容で先着10回のところ18回実施した。

適切に実施することができた。

A B C D

要求水準を満たしており、適切に施設利用に関する業務が実施された。

▽ 再利用品の展示・提供に関する業務

▼札幌市の大型ごみで「再利用希望」として出されたリユース家具・自転車・遊具の抽選・即売事業を行った。

隔月でフェアを開催した。5月遊具・ベビーカーフェア、9月1人掛け用イス、11月袖机、2月学習机、3月自転車

毎月、ホームページに価格やサイズ・規格が確認できる一覧表をアップして、動画配信サイトで展示品を1点ずつ目視できるようにしているため、来館前に市民が展示品を確認できる。また、リユース品のニーズが高く、完売が5回あった。

大型ごみのリユース促進のため、広報さっぽろやごみコミュニケーションで事業内容を紹介した。

展示数：683点、提供数：668点（内即売提供36点）、申込者数7,835人、販売金額：2,598,500円
前年度（展示数：705点、提供数：685点（内即売提供36点）、申込者数6,627名、販売金額：2,612,500円）

▼リユースコーナーで不用品活用の促進を行った。

持ち込み人数5,976人・新規預り112,459点・提供数107,766点
530(ゴミゼロ)基金の募金箱を設置し、リサイクルプラザのごみ減量に関わる市民還元事業などに活用した。(令和6年度寄付金総額227,148円)

▼交流企画事業

他団体との交流企画事業を多数行った。

累計15回(目標4回)、参加者7,988人

5月：海岸清掃活動の活性化について座談会
(HBC・株式会社ドーン・コープさっぽろ等)

5月：着物リユース市(ボランティアサークルマイカップ)

7月：着物リユース市(ボランティアサークルマイカップ)

8月：絵本とおもちゃのリユース市(札幌市立駒岡小学校・駒岡団地町内会・真駒内駒岡町内会)

8月：子ども服のリユース大作戦！(西区環境まちづくり協議会・地区センター・石屋製菓等)

10月：西区SDGsフォトコンテスト(札幌市西区役所、札幌市環境局、西区環境まちづくり協議会等)

10月：プラスチックごみ展示会in市役所ロビー(札幌市・北海道容器包装の簡素化を進める連絡会)

10月：プラスチックごみ展示会inイオンモール札幌苗穂(イオン北海道株式会社・北海道容器包装の簡素化を進める連絡会)

10月：着物リユース市(ボランティアサークルマイカップ)

11月：食べる・たいせつフェスティバルinさっぽろドーム(コープさっぽろ・北海道容器包装の簡素化を進める連絡会)

12月：西区子ども環境広場「こども服・おもちゃ・絵本のリユース大作戦！」(西区環境まちづくり協議会・さっぽろ青少年女性活動協会等)

1月：カレンダーのリユース市(札幌ユネスコ協会)

2月：プラスチックについて考える展示会in道庁(札幌友の会・北海道容器包装の簡素化を進める連絡会等)

3月：「それぞれの立場で実践している環境保全活動の事例発表会」(札幌北高等学校・イオン北海道株式会社・北海道容器包装の簡素化を進める連絡会等)

3月：ダンボール式生ごみ堆肥化講座(NPO法人北のごみ総合研究所)

	<p>▽ リユース食器の貸出に関する業務</p> <p>▼「リユース食器」の貸出 累計5回貸出、貸出個数590個、参加者410人、利用料金5,000円、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月: 駒岡盆踊り(株式会社タクマ) ・8月: こども服のリユース大作戦!(西区環境まちづくり協議会) ・10月: 着物リユース市(ボランティアサークルマイカップ) ・12月: こども服のリユース大作戦!(西区環境まちづくり協議会) ・1月: カレンダー市(西区ボランティアサークル) 										
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼リサイクルプラザが実施した広報によって、施設を利用した市民の割合。(利用者アンケート400名より) 上期60.2% 下期62.4%</p> <p>▼HPはタイムリーな情報提供を心掛け、年間128回の更新をした。(年間閲覧数累計39,264件)</p> <p>▼月間の事業内容を掲載している「プラザ事業ニュース」を毎月25日に発行(計12回20,600部)利用者増に合わせ、月によって発行部数を増やした。 クロネコDM便の廃止による送料の値上がり対策として、部数や送付先を見直した。</p> <p>▼ごみ減量情報紙「ごみニュケーション」を年2回14,000部発行。9月は49号『小型充電式電池のリサイクルを進めよう』、3月は50号『リユースで出すと、だれかに使ってもらえる』を特集した。</p> <p>▼YouTubeの他、FacebookやInstagramなどのSNSを活用した情報発信を行った。</p> <p>▼札幌市内のホームページ制作会社にウェブアクセシビリティの検査を依頼して、11月に検査を行いAAに準拠という結果になった。検査結果は12月にホームページに掲載した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼年度末に全事業のマニュアルを2025年度用に改定した。 (総務・再利用品展示提供業務・広報業務・学習機会の提供業務・情報収集及び提供業務・意識啓発業務・市民ボランティア業務・リユース食器業務・相談業務・受付カウンター業務・販売管理業務・クレーム対応・事故等の緊急対応)</p>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">要求水準を満たしており、適切に付随業務が実施された。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	要求水準を満たしており、適切に付随業務が実施された。			
A	B	C	D								
要求水準を満たしており、適切に付随業務が実施された。											

2 自主事業その他								
<p>▽ 自主事業</p> <p>自主事業計画に基づき実施した。自主事業で生じた利益は市民還元事業や物価高騰による物件費増加の対策に活用した。</p> <p>▼リサイクル・リフォーム・エコに関する商品を選定し市民に提供した。</p> <p>▼小規模フリマコーナーでは隔月で「端切れ」「アクセサリー」「本やDVD」など人気のあるアイテムに特化した展示を行い、市民に楽しんでもらう工夫を行った。</p> <p>▼エクステンジ(洋服の交換会) 毎月、エコ広場期間中に実施している。開催中に掲示しているエクステンジの説明ポスターを見やすくリニューアルした。 【令和6年度利用状況】 持ち込み：人数2,818人、点数6,964点 持ち帰り：人数2,883人、点数6,879点</p> <p>▼「北海道容器包装の簡素化を進める連絡会」の事業に事務局として参加することで、市民に海洋プラスチックごみ問題や、レジ袋の有料化、他団体の容器包装簡素化等の取り組みについて啓発することができた。</p> <p>▼札幌市・ちえりあ主催事業 ・「環境広場さっぽろ」に活動紹介パネルを出展 ・ちえりあフェスティバルのスタンプラリーに協力</p> <p>▼市民から寄付された不用品を活用して、積極的にリユース推進イベントを開催した。年間来場者や幅広い世代の利用の増加につながった。 ・5月：着物リユース市(新規) ・7月：着物リユース市(新規) ・8月：おもちゃと絵本のリユース市 ・8月：子ども服のリユース大作戦！(新規) ・9月：食器のリユース市(新規) ・10月：着物リユース市(新規) ・12月子ども服・おもちゃ・絵本のリユース大作戦！(新規) ・1月：カレンダー・手帳のリユース市</p> <p>(リユース実績)※計量しているイベントは重量も記載。 ・着物類：833点(549.9kg) ・おもちゃと絵本：1,473点 ・こども服：12,958点(1994.9kg) ・食器：398点 ・カレンダーや手帳：2,646点</p>	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="width: 25px;">A</td> <td style="width: 25px; background-color: #FFD700;">B</td> <td style="width: 25px;">C</td> <td style="width: 25px;">D</td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>いずれの項目も要求水準を満たしており、適切である。</p>	
A	B	C	D					

<p>▼おもちゃ病院 特に子どもを対象に、物を大切に永く使う心を育むことを目的に、壊れたおもちゃを受け入れて、おもちゃドクター(ボランティアスタッフ)が修理してお返しする取り組み。年間468点受付。</p> <p>▼毎月1回、全国の環境学習施設関係者で構成されている「環境学習施設研究部会」とZOOMで意見交換を行った。</p> <p>▼インターンシップを受け入れて、リサイクルプラザの業務を経験してもらった。11月:大通高等学校(1名)</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼事業に関係する企業の活用は、可能な限り札幌市内の事業者を選定した。</p> <p>▼自主事業の販売品は、市内の福祉施設や作業所で製造している品を中心に仕入れることで配慮した。</p>													
<p>3 利用者の満足度</p>													
<p>▽ 利用者アンケートの結果</p> <table border="1" data-bbox="288 891 927 1888"> <tr> <td data-bbox="288 891 384 1126">実施方法</td> <td data-bbox="384 891 927 1126"> <p>▼リサイクルプラザ利用者アンケートとして、リサイクルプラザ宮の沢の施設来館者に上半期・下半期の2回、用紙配布により実施した。</p> <p>▼各教室・講演会等の参加者にアンケートを実施した。結果を分析して、年度内に活かす部分は活かし、以降に実施する事業に役立てた。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1126 384 1608">結果概要</td> <td data-bbox="384 1126 927 1608"> <p>▼施設利用者アンケート(400人実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者27.3%、リピーター72.7% ・接遇:とても良い69.3%、良い26.2%、普通4.3%、あまり良くない0.3%、悪い0% ・満足度:とても満足した51.1%、ほぼ満足した38.1%、普通10.0%、少し不満0.8%、不満0% <p>▼事業アンケート(参加者合計785人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者71.3%、リピーター28.6% ・満足度:とても満足75.7%、満足21.7%、普通2.0%、少し不満0.3%、不満0.3% ・理解度:とてもよく理解できた76.3%、理解できた21.7%、理解できない部分があった2.0% </td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1608 384 1888">利用者からの意見・要望とその対応</td> <td data-bbox="384 1608 927 1888"> <p>▼参加が抽選になる人気のある教室では、抽選に当たらないという声が多いため、年間の開催回数を増やして対応している。</p> </td> </tr> </table>		実施方法	<p>▼リサイクルプラザ利用者アンケートとして、リサイクルプラザ宮の沢の施設来館者に上半期・下半期の2回、用紙配布により実施した。</p> <p>▼各教室・講演会等の参加者にアンケートを実施した。結果を分析して、年度内に活かす部分は活かし、以降に実施する事業に役立てた。</p>	結果概要	<p>▼施設利用者アンケート(400人実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者27.3%、リピーター72.7% ・接遇:とても良い69.3%、良い26.2%、普通4.3%、あまり良くない0.3%、悪い0% ・満足度:とても満足した51.1%、ほぼ満足した38.1%、普通10.0%、少し不満0.8%、不満0% <p>▼事業アンケート(参加者合計785人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者71.3%、リピーター28.6% ・満足度:とても満足75.7%、満足21.7%、普通2.0%、少し不満0.3%、不満0.3% ・理解度:とてもよく理解できた76.3%、理解できた21.7%、理解できない部分があった2.0% 	利用者からの意見・要望とその対応	<p>▼参加が抽選になる人気のある教室では、抽選に当たらないという声が多いため、年間の開催回数を増やして対応している。</p>	<p>適切に実施することができた。</p>	<table border="1" data-bbox="1182 853 1369 896"> <tr> <td data-bbox="1182 853 1246 896">A</td> <td data-bbox="1246 853 1310 896">B</td> <td data-bbox="1310 853 1369 896">C</td> <td data-bbox="1369 853 1433 896">D</td> </tr> </table> <p>いずれの項目も要求水準を満たしており、適切である。</p>	A	B	C	D
実施方法	<p>▼リサイクルプラザ利用者アンケートとして、リサイクルプラザ宮の沢の施設来館者に上半期・下半期の2回、用紙配布により実施した。</p> <p>▼各教室・講演会等の参加者にアンケートを実施した。結果を分析して、年度内に活かす部分は活かし、以降に実施する事業に役立てた。</p>												
結果概要	<p>▼施設利用者アンケート(400人実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者27.3%、リピーター72.7% ・接遇:とても良い69.3%、良い26.2%、普通4.3%、あまり良くない0.3%、悪い0% ・満足度:とても満足した51.1%、ほぼ満足した38.1%、普通10.0%、少し不満0.8%、不満0% <p>▼事業アンケート(参加者合計785人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用:新規利用者71.3%、リピーター28.6% ・満足度:とても満足75.7%、満足21.7%、普通2.0%、少し不満0.3%、不満0.3% ・理解度:とてもよく理解できた76.3%、理解できた21.7%、理解できない部分があった2.0% 												
利用者からの意見・要望とその対応	<p>▼参加が抽選になる人気のある教室では、抽選に当たらないという声が多いため、年間の開催回数を増やして対応している。</p>												
A	B	C	D										

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)
収入	25,891	28,116	2,224
指定管理業務収入	24,505	25,925	1,420
指定管理費	22,560	22,560	0
賃金スライド収入	0	548	548
自主事業より補填	0	860	860
利用料金	95	107	12
その他	1,850	1,850	0
自主事業収入	1,386	2,191	805
支出	25,891	28,104	2,212
指定管理業務支出	24,505	25,310	805
賃金スライド(市)	0	548	548
賃金スライド(自己)	0	55	55
自主事業支出	1,386	2,191	805
収入-支出	0	12	12
利益還元			0
法人税等			0
純利益	0	12	12

▽ 説明

▼小規模フリマの売り上げが好調だったため、自主事業の額が多くなった。

▼自主事業について、物価高騰の影響で不足している物件費を自主事業収入で補填し、生じた利益は次年度事業に繰り入れているため、収入支出が同額となっている。

概ね計画どおり適切に実施することができた。

A	B	C	D

概ね計画通りに実施されており、適切である。

＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼当団体の財務状況等は、借入金なしで運営している。また、事業ごとに収支計算書を作成し財務状況を管理しており、安定経営能力は選定時と同等である。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
<p>第5期指定管理期間の2年目。 隔月でリユースのイベントを開催した。目的としては「将来を見据えたモデル事業」「利用者の増加」「幅広い世代の利用」である。 開設から20年以上経過する施設として、開設当時から同じ事業を継続するだけでなく、市民に何が求められているのかなどを知るために、新規のリユースイベントを開催した。結果、年間利用者は過去最高を記録した。また、特にこども服はこどもとその保護者という若い世代に、リサイクルプラザを知ってもらい良い機会になり、こども～30代前後の利用が増えた。</p>	<p>第6期指定管理期間を見据えて、引き続きリユースのイベントを行っていく。また、環境学習施設として、単に物を持ち帰るイベントではなく、ごみの減量やその効果を市民に見える化するような工夫を行っていく。 リユース希望で出される家具や自転車の数が減少傾向にあり、これまでも施設から情報発信・啓発チラシの配布・広報紙で市民に啓発してきたが、改善には至っていないので、今後も札幌市・リユースプラザ・リサイクルプラザ発寒工房と一緒に打開策を考えていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>統括管理、労働・雇用環境、施設の維持管理、付随業務について、所管局の要求水準を達成し適切である。 2024年度は、前年に引き続き各種事業やSNSを活用した広報、新たなリユースイベントなど市民の利用を促進する取組を行い、年間利用者が過去最高となったことは高く評価できる。 例年の改善事項であった「若年層への来館促進」「子ども向け事業の継続実施」については、新たに子ども服や絵本のリユース市などを開催することによって、若年層の利用が増えており、アンケート結果にも現れていることも高く評価できる。</p>	<p>引き続き、若年層への来館促進に繋げていくべく、ニーズに応じた事業を企画するとともに、様々な媒体を活用した啓発活動に取り組むこと。 プラスチック資源循環促進法の施行や、リチウムイオン電池に起因した発煙発火事故が社会問題となるなど、ごみを取り巻く環境が目まぐるしく変化していることから、時代の変化を適切に捉えた上で、市民が正確に理解できるよう、分かりやすい普及啓発活動などを企画すること。</p>